

立命館経済學

第 46 卷 第 1 号

1997年4月

内 容

論 説

- ヨーロッパ統合市場進展の意義……………岩 田 勝 雄 1
- 東中欧におけるネーションの形成……………山 井 敏 章 18
——W. コンツェの遺稿に寄せて——（上）
- Sustainable Development : Economic Incentives
in Waste Management in Thailand……………Dararatt Anantanasuwong 36

研 究

- 過渡期チェコにおける経営主体の形成……………小 林 佐和枝 53
——外資と政府の役割を中心に——
- 1996年度修士学位請求論文要旨……………74
- 共同研究室……………97

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第45巻・第5号

論 説

- 多国籍自動車企業の中国での展開……………岩田 勝 雄
黄 駿
——中国の自動車産業育成政策との関連で——
- 核冷戦は米国地域経済をどう変えたか……………藤岡 惇

研 究

- 日本における銀行貸出市場の変遷について……………打田 委 千 弘

学位論文審査報告

- 五十嵐直子「日本における経済のサービス化・情報化の産業連関分析」
ルジハン・ビン・ムスタファ「A STUDY OF INTERNATIONAL
CAPITAL AND LABOR MIGRATION IN THE ASIAN REGION」
宋 立水「アジア NIES 工業化過程における資本形成と技術形成
——台湾の事例から——」

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第45巻・第6号

三好正巳教授退任記念論文集

- 三好正巳教授退任記念論文集の刊行にさいして……………杉野 園 明
- 労働者派遣・職業紹介事業の規制緩和と
ILO 96号条約改正問題……………伍 賀 一 道
- 日本企業の雇用システムと「終身雇用制」論……………浪 江 巖 俊
- 立命館大学生および仏教各宗派の靈魂観……………安 斎 育 郎
- 公共事業費の膨張と政府債務の累増……………坂 野 光 俊
——建設公債原則に基づく財政運営の帰結——
- 体制転換における企業と労働……………芦 田 文 夫
——追跡の理論的枠組み——
- 地代論争と虚偽の社会的価値……………杉野 園 明
- 経済システムと自己組織性の理論……………高 木 彰 敏
- J・ロンドンのボクシング小説……………辻 井 栄 滋
- 現代日本の国際経済関係……………岩田 勝 雄
- アメリカ原子力発電産業の現段階……………藤岡 惇 敏
- 労働の規制緩和と労働市場……………横 山 政 敏
——新規卒市場の展開を中心にして——
- 東アジア地域における軍事支出と経済成長……………稲 葉 和 夫
——計量経済的分析方法の検討——
- 山県大弐の経済論について……………Gudrun GRÄWE
- 三好正巳教授略歴・主要著作目録
共同研究室・第45巻総目次

発行所 立命館大学経済学会